

いぬぎき 義の会 だよ



第131号 2026 令和8年4月



3月定例会

もくじ

令和8年度予算	2
注目の事業	4
予算審査特別委員会	6
3月定例会	8
補正予算質疑	8
議会最前線	11
一般質問(7人が町政を問う) ...	12
全員協議会	20
視察報告	22
議会からのお知らせ	23
政務活動費報告	23



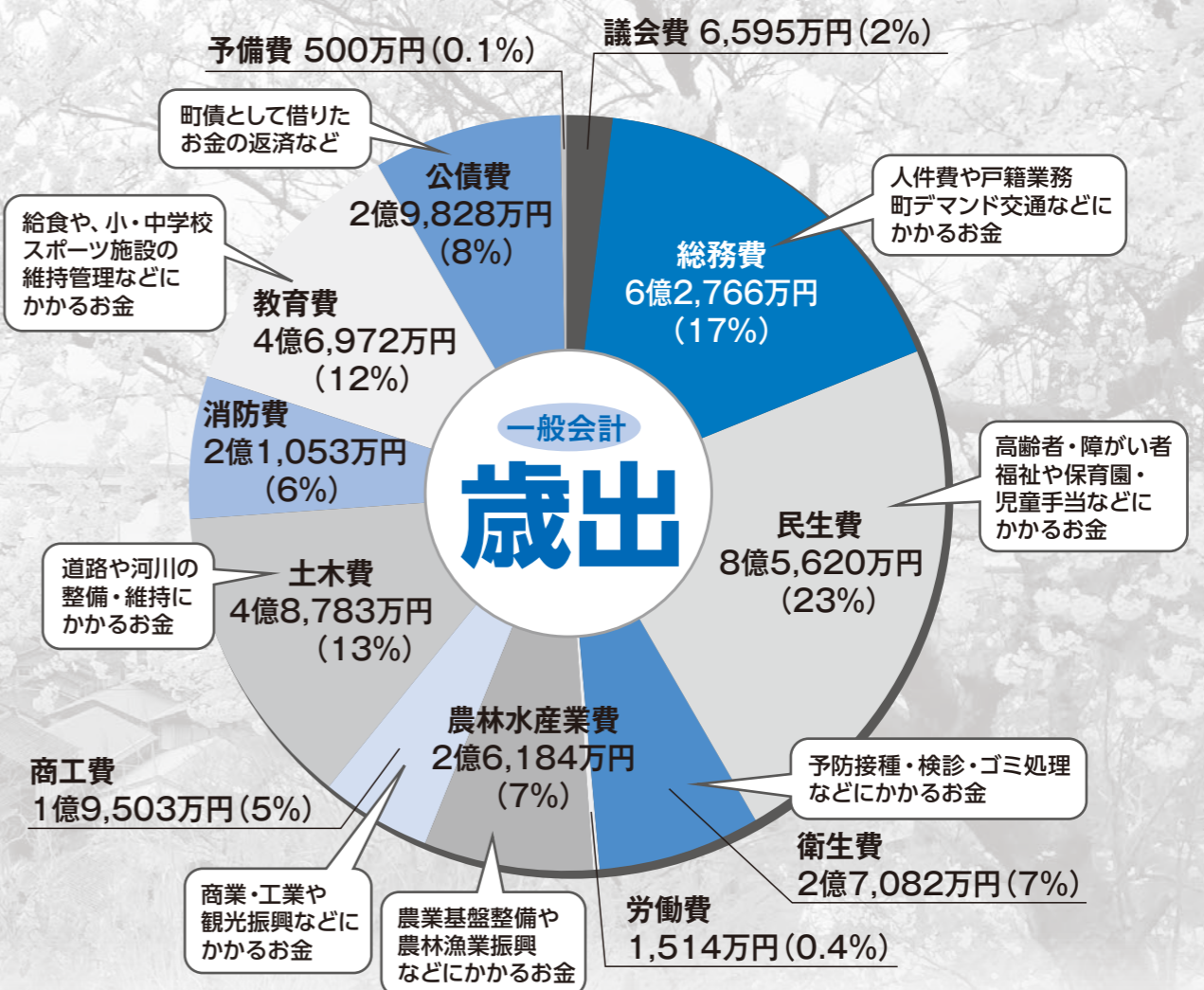
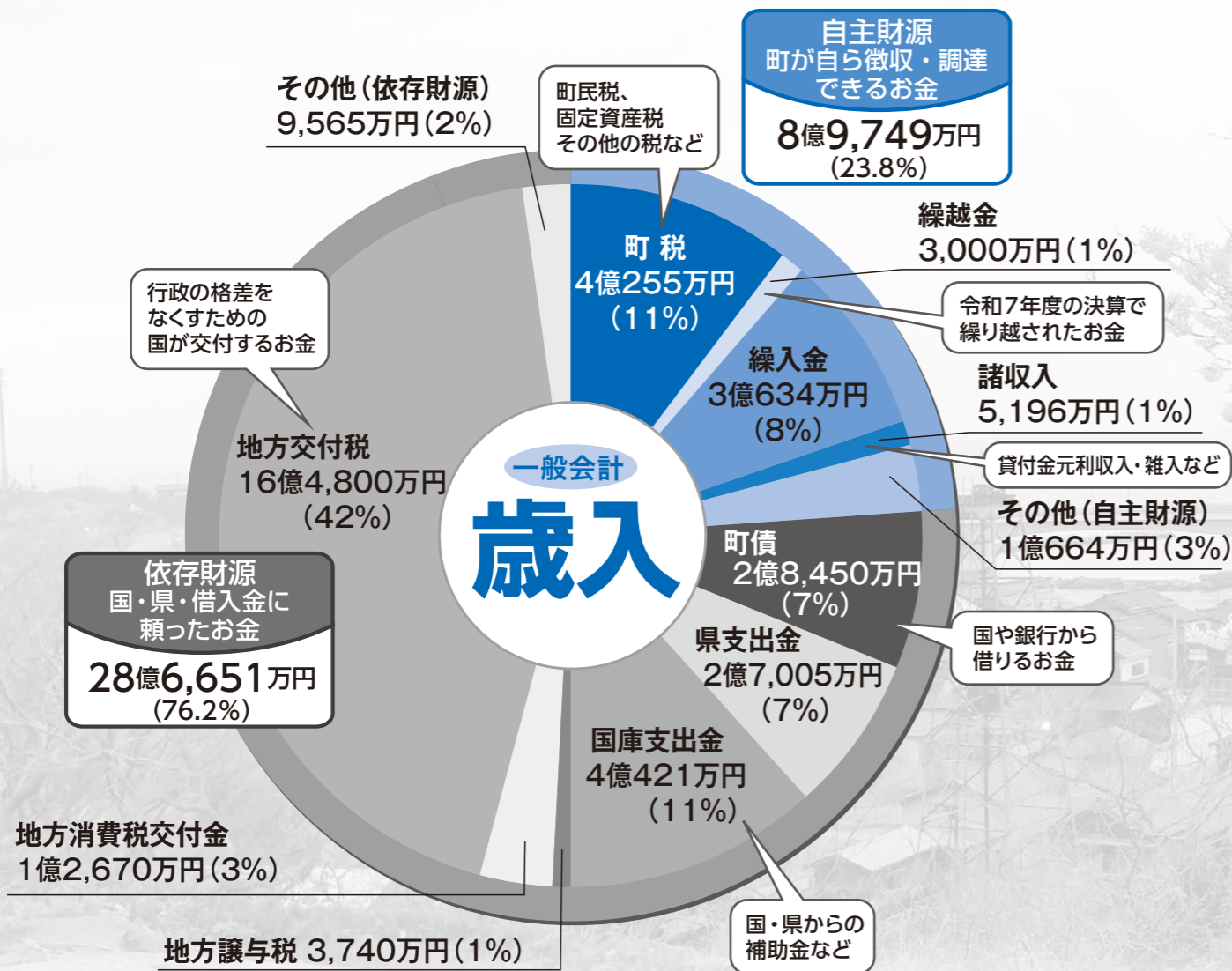
出雲崎町議会
ホームページ



出雲崎町
公式LINE

私たちの未来をどう描く

～ 一般会計予算総額 **37億 6,400万円** ～
(前年度比 1.2% 4,300万円増)



※万円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

特別会計

(▲は減額)

会計名	令和8年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	5億1,790万円	△1,380万円	△2.6%
介護保険事業	6億2,890万円	△2,010万円	△3.1%
後期高齢者医療	9,140万円	1,640万円	21.9%
住宅用地造成事業	130万円	△350万円	△72.9%
合計	12億3,950万円	△2,100万円	△1.7%

公営企業会計

(▲は減額)

会計名	令和8年度	対前年度増減額	増減率
簡易水道事業	2億8,280万円	△1,750万円	△5.8%
下水道事業	4億5,990万円	△3,110万円	△6.3%
合計	7億4,270万円	△4,860万円	△6.1%

出雲崎の未来を占う挑戦

地方創生の推進に向け、国の地域未来交付金を活用する。

対象事業

- 1** アクションプラン策定事業 **550万円**
- 2** オールシーズンにぎわいづくり・関係人口創出事業 **880万円**
- 3** プロセスエコノミー型情報発信事業 **330万円**
- 4** 妻入りの街並み空き家調査・活用計画策定事業 **770万円**
- 5** 地域商社等法人ポテンシャル調査事業 **880万円**
- 6** 地域活性化企業人の起用 **1,820万円**

※⑥は補助金の対象外

地方創生
推進費関連費
約**5,230万円**

「地域未来交付金」とは
地方の「強い経済」を実現するために、地域特性を最大限生かし、地域独自の取り組みの計画から実施まで後押しすることを目的とした交付金。補助率は二分の一



地方創生という言葉が定着する中で、今、問われているのは「出雲崎町を将来にどう残すか」と感じています。人口減少や少子高齢化は避けて通れない現実ですが、これを縮小ではなく、地域の価値を見つめ直す契機と捉えることが重要だと思います。

令和8年度は地方創生の推進に向けて、議員の皆さまのご理解をいただき、前例のない規模で予算を重点配分しました。

今やらなければ、将来への影響は甚大となるとの強い危機意識のもと、施策を推進してまいります。目指すは、人が集い、行き交う活力のあるまちを取り戻すこと、そして、人を呼び込むだけでなく、今、暮らしている方々が安心して住み続けられ、地域に誇りを持てる町づくりです。そのために、今年度は地域資源の磨き上げと、多様な主体が参画できる環境づくりを進めてまいります。

地方創生は、町民の皆さまとともに進めていく取り組みです。将来に誇りを持って残していける町を目指し、全力で取り組んでまいりますので、町民各位のご指導とお力添えを賜りますようお願いいたします。

出雲崎町長 仙海 直樹



さらなる「子育ての町」に向けて

事業費
198万円



助かりはするが、周りには2歳でおむつを卒業している子もいる。また、1カ月当たり5千円の券の金額を上回ることが多いため、金額を上げて欲しかった。

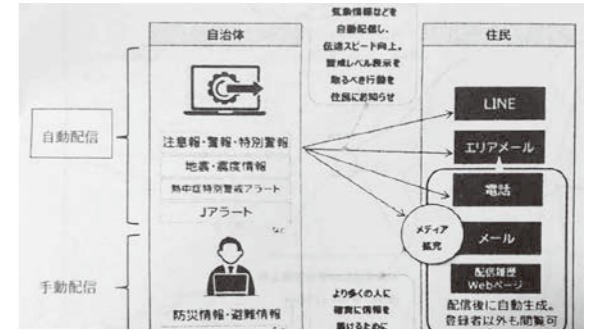


1歳と2歳の子を持つお母さん

概要
乳幼児のおむつ等給付券の対象年齢を「2歳未満」から「3歳未満」までに拡充する。金額は月5千円。

防災情報をデジタルでも！

事業費
539.6万円



防災システムイメージ図



概要
戸別の受信機の生産終了に伴い、防災情報等の一斉配信システムを導入。LINE、電話、メールと連動し、webページでも確認可能。情報伝達の迅速化を図るもの。

快適な施設利用ができるように

事業費
4,807万円



寄港地の町家



時代館

概要
猛暑対策として寄港地の町家に空調設備を設置する。時代館で現在空調の効かない1系統を修繕する。

学校給食費補助

事業費
1,529.6万円



町の補助があっても、兄弟姉妹が多いとそれなりに金額が大きかったので、負担ゼロになるのは嬉しい！給食の質や量も落とさず、これからも継続してほしい。



小学生と中学生の子を持つお母さん

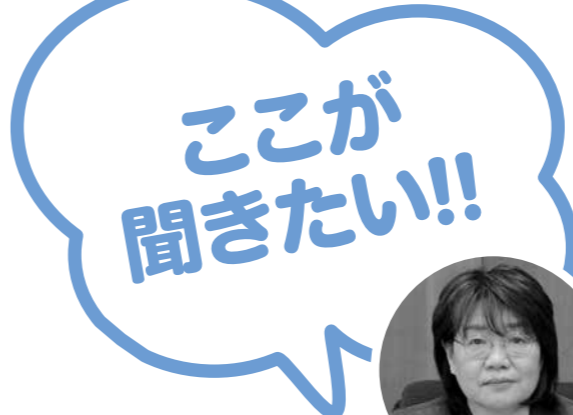
概要
小学校教育・中学校生徒の保護者への経済的負担軽減を図るため、学校給食費を補助する。一部に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用する。

3月定例会 予算審査特別委員会

令和8年度一般会計・特別会計は予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、全会一致で可決しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。



高桑 佳子 委員長



**公共施設等
総合管理計画
更新業務委託料**
499.4万円

石川議員 他にも学校施設長寿命化計画更新業務委託料が上がっているほか、令和7年度3月補正で中学校体育館空調・断熱化・気密化工事設計委託料が上がっている。体育館そのものの寿命を考えて、委託料の無駄を省くために総合管理計画や学校施設長寿命化計画と一体的に検討すべきではないか。

か。新たに企画するならば職員負担が重くなるのではないか。

総務課長 地方創生で毎週何かのイベントを行なうことで関係人口の創出が期待できる。その中の助言があり職員からも100からいくつかのイベントを追加で実施したい。職員全員が関わっていかねばならず、ある程度の負担はやむを得ないと考える。

**地域活性化起業人
負担金**
1,820万円

石川議員 募集人員5名の根拠と、どのようなルートでの募集になるか。また、全員協議会で説明のあった受け入れの期間前に要する経費等が計上されていない理由は何か。

総務課長 現段階で起業の派遣型2名副業型3名を見込んでいる。初年度で発案・提案は見込めないこと、年度始めからと考えているため、受け

空家等対策費
248.6万円

宮下議員 行政代執行でやむなく除却した特定空家については承知しているが、空家はますます増える傾向にある。今後の対応として、国に法改正等を要望する考えはないか。

有効な手立てと考えるので検討できないか。

**町高齢者
福祉タクシー
バス利用料助成**
600万円

宮下議員 令和7年度の利用率で半分は利用されていない。良い制度なので利用しない理由を探って対策し、利用率を上げるべき。



利用券1枚で「てまりん」にも使える

防犯対策費
599.3万円

高橋議員 防犯灯がほとんどで防犯カメラの設置がない。

**文化財保存活動
事業補助金**
1,000万円

宮下議員 高齢化で保存会の活動ができなくなってきたているが、今後をどう考えるか。

**町学校給食費
補助金**
604.8万円

鳥議員 中学校給食費について、町独自の施策であるが小学校と同様に保護者負担は生じないものか。

**歳入について
利子および配当金**
45.2万円

石川議員 大きく増えている理由は、金利上昇によるものだけか。

会計管理者 ゼロ金利が長く続いたが金利のつく時代になり、8年度は金利収入が見込める。また、7年度に購入した債券の利子が入ってくることから大きく伸びている

**津波緊急避難場所
(尼瀬地区)
基本計画策定業務
委託料**
273.9万円

宮下議員 地滑り地帯であるが大丈夫か。

石川議員 今後この緊急避難場所を整備する構想はないか。

総務課長 全ての場所が危険ではなく、警戒区域をクリアできる。今後、海岸地域の高台避難では、雨風をしのげない箇所について、解消するよう整備を進める。



予定地から天領の里を望む

**出雲崎・小木ノ城駅
トイレ管理委託料**
15.6万円

宮下議員 長年の懸案事項であるが、持ち続けるのか撤去するか何らかの方法を検討すべきではないか。

町長 近隣沿線の駅を視察したが、トイレのない駅はなかった。様々な課題があって担当課で試算もしており、検討しなければならぬ事と考えている。



小木ノ城駅トイレ

老人クラブで定期的に清掃しているが、とても気軽に使える状態ではない。簡易式のもの置くなど、検討して欲しい。

ご近所の方

**スポーツ・健康
マイレージ事業
特典**
60万円

小林玲子議員 利用方法の周知PRはどのように行なっているか。

保健福祉課長 お任せ版とスマートフォン版アプリがある。チラシを毎年度初めに配るが、今年度はポスターを作成する。ポイントについても見直して取得しやすい環境を整え、利用者の裾野を広げたい。



利用者の方

とても良い事業だと思いい、利用している。もっと広く知ってもらい、町民の健康増進に役立ってこそ意味がある。



ここは風が強いので、石碑も傾いていて木製の柵は朽ちて倒れそうになっている。整備をして、伝承していきたい大切な場所だ。

代官所跡の草刈をされていた方



獄門跡

町長 町内保存会3団体の状況は承知しているが、町の文化財として無くするわけにいかない。今後どう守っていくか検討していかねばならない。

令和7年度 一般会計補正予算

歳入歳出2,176万9千円を追加 総額 40億587万2千円

予算のポイント!

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加

ふるさと納税寄付金

3,000万円 **DOWN**

概要 3月末で申込件数1,505件
5,058万円の寄付額、様々な
事業に活用された。



子育て
コウノトリ祝金



福祉
社会福祉協議会補助金



教育
公設学習執事



歴史文化
出雲崎地域の祭り支援補助金

給食室エアコン設置工事

412万円 **UP**

概要 出雲崎小学校の給食室の既設
エアコンの能力不足を解消し
室内環境の改善を図るもの。

夏場の作業は大変
だった。エアコンが
設置され、良い調理
環境の中で子供たち
のために給食が作れ
ることがうれしい
です。



出雲崎小学校
給食関係の方

補正予算質疑

主なものの中から
抜粋して掲載しています

小学校給食室 エアコン設置工事

412万円

高桑議員 電気設備関係が複雑で
電気の容量が不足する問題もある
が解消はされるのか。
教育課長 給食室にエアコン、食
品庫内にルームエアコンを1台設
置する。電気設備については不具
合が生じないように検討する。

ふるさと納税寄付金

▲3,000万円

中野議員 令和8年度はどのよう
な取組を検討しているか。
町長 ふるさと納税については
は、一丁目一番地で取組んでいる
が、今年度は目標達成ができな
かった。令和8年度は、出雲崎の
ブランド米を引続き選んでいただ
けるようにし、ふるさと一品開発
の補助金を活用し新たな返礼品の
開発に向けて事業者と協力してい
ただきたい。また、中間業者に入っ
てもらい寄付の増額を目指し、企
業版ふるさと納税にも力を入れた
い。



物価高騰対応 重点支援地方創生 臨時交付金事業の実施

4,474万円 **UP**

概要 物価高騰対策として実施す
る、重点支援地方交付金の活
用に伴うもの。



体育館空調設置・ 断熱化・機密化工事 設計委託料

1,243万円 **UP**

概要 原発事故等があった時に出雲崎
中学校の体育館を屋内退避施設
とするため空調設備・断熱化・
気密化工事の設計を委託するも
の。国の補助金と町の一般財源
等を充当する。

自宅での避難は不安がある。町内に
このような避難施設が増えてほしい。



町防災士会
の方



財産管理費

102万円

中野議員 除雪関係に使用された
ものか。
総務課長 総務課に除雪車を1台
所有しており関連の費用になる。

道路維持費

300万円

中野議員 除雪関係に使用された
ものか。
建設課長 建設課で所有している
除雪車の修繕費になる。
今後は年数経過を見ながら更新
していく。

町高校生通学助費

▲40万円

高桑議員 減額となった理由はど
のようなものがあるか。
教育課長 保護者の送迎や通信課
程高等学校へ通学など利用されな
いことがある。

地域おこし協力隊 活動費

▲493万円

保健師設置費

▲356万円

町道維持修繕工事

▲960万円

石川議員 それぞれどのような理
由で減額となったのか。
総務課長 地域おこし協力隊は当
初、2名を募集したが1名の採用
となった。地方創生事業で地域活
性化企業人の制度を検討したので
1名分を減額とした。
保健福祉課長 保健師が1名退職
となり減額とした。

道路新設改良 舗装工事

▲510万円

石川議員 それぞれどのような理
由で減額になったのか。
建設課長 町道の維持修繕工事は
10本、改良舗装工事は3本実施し
たが、年度末の調整で減額となる。

放課後児童 健全育成事業費

19万円

島議員 川西児童遊園にソー
ラー時計の設置時期はいつ頃にな
るか。また、設置場所ほどのあた
りになるか。
保健福祉課長 太陽光型の電波時
計を利用の増える4月頃に設置し
たい。トイレ壁面に設置する予定
としている。

議会最前線 新潟県知事に意見書を提出!!

出雲崎町議会は、「柏崎刈羽原子力発電所に係る実効性ある避難体制構築とそれに伴う財政負担軽減を強く求める意見書」を県知事宛てに提出しました。

主旨概要

柏崎刈羽原発の再稼働にあたり、地元住民が苦渋の決断で協力してきた歴史を重んじつつ、現状の避難体制や市町村の財政負担に強い懸念を示しています。原発防災は国策である以上、自治体の負担はゼロであるべきであり、実効性のある避難体制の構築と手厚い財政支援を国に強く求めます。

要望事項

①避難の準備を助けて!

町全域はUPZだが、地形や風向きを考慮すると、PAZ（即時避難区域）に近いため、避難所や道路整備、人口減少対策を含む地域貢献策への負担軽減を!



段ボールベッド組立訓練

②逃げ道を早く作って!

海岸から高い所へ逃げるための『国道352号(石井町工区)』の工事完了を早急に!



③避難場所を認めて!

尼瀬地区に作る予定の新しい津波緊急避難場所を、国の支援対象として認めて!



津波緊急避難場所(尼瀬地区)

④停電しても動くエアコンを!

複合災害の時、停電しても使える空調LPガス発電機や大型蓄電池の設置費用を補助対象に!



⑤崖の近くでも逃げやすく!

背後が断崖絶壁である海岸地域に、避難タワーや集会所などの施設整備にかかる費用について補助率のかさ上げを!



背後が断崖絶壁の海岸地域

高知県の津波避難タワー(視察時の写真)

⑥町の負担は「0円」に!

原発への防災対策は原則、国においてなされるべきである!



3月定例会

請願 第1号 風力発電施設建設に関する厳格な制限および撤去費用積立等を求める請願 **不採択**
賛成 2人 反対 8人

陳情 第1号 出雲崎町における風力発電事業の推進に関する陳情願 **不採択**
賛成 0人 反対 10人

※請願・陳情については、内容の「修正」をすることが出来ず、その採択にあたっては内容のすべてにおいて「実現の可能性があるか」、さらに、「町村の権限、議会の権限事項であるか」が規準となる。内容に踏み込みでの意見もあったが、ごく近い将来、実現の可能性が難しいものとして不採択になった。

可決された条例制定

議案第10号 出雲崎町過疎地域持続的発展計画の策定について

計画を策定することで、総合的な過疎対策事業に充当できる過疎対策事業債の借り入れといった財政措置を受けることが可能になる。

議案第13号 出雲崎町特定乳児等通園事業の運営に関する基準を定める条例制定について

「特定乳児等通園支援事業」とは親の就労要件を問わず、生後6ヶ月から満3歳未満の未就園児が月10時間まで保育施設を利用できる制度

可決された条例の一部改正 (主なもの)

議案第14号 出雲崎町子育て支援に関する条例の一部改正

子育て世代に対する支援を更に充実させるため「乳幼児おむつ等支給事業」の拡充を図るもの。令和8年4月からは「満3歳に満たない者」に拡充する。

議案第16号 越後出雲崎天領の里設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

屋外のキッチンカー販売などの利用が増えているため、指定管理者による主体的な管理により施設の魅力が向上するように改正するもの。

人事案件 固定資産評価審査委員会委員の選任について

おおたにひろえい (任期は令和8年10月3日まで)
大谷浩栄氏 (稲川)



北谷 三樹 議員 (文責)



町は保育に どのように携わるのか

町長 両園との連携を深めていく



出雲崎こども園



小木之城保育園

町長 現状考えていない。両園の特性を生かし、質の高い保育を提供したい。適切な運営ができるように支援を続けていく。

北谷 このままでは2つの私立園の経営は難しい。もしも時は、公立で保育園等を運営する覚悟はおありか。

町長 少子化には様々な要因があるが、本町では特に子育て支援の充実や若い世代の住環境を整えることが重要と考える。

北谷 町の令和6年度の出生数は11人、令和7年度は8人の見込みとなっている。この現状をどのように考えるか。

少子化と町の保育環境

北谷 町は令和6年度の出生数は11人、令和7年度は8人の見込みとなっている。この現状をどのように考えるか。

北谷 町は令和6年度の出生数は11人、令和7年度は8人の見込みとなっている。この現状をどのように考えるか。

教育長 両園とも小学校との連携・交流活動が以前より活発になっている。一方で、教育委員会が両園に入り込んで指導すると、直接の管轄ではないので難しい部分がある。町は連携の補助に努めたい。

北谷 小中学校の在り方が検討されているが、保育も合わせて考える必要がある。加えて、町が今よりリーダーシップを発揮する時期に来ていると考える。

「妻入りの街並み」 は守っていくべきか

町長 後世に残していくべきもの

北谷 令和8年度より、妻入りの街並みの空き家を活用できるか調査を行う予算が組まれたことを評価する。空き家は時間が経つほど価値が下がる。個人の家に町が対応することが難しいのは重々承知だが、最後の段階で何か手を打てないか。

町長 過去町内の園で検討されたが、様々な事情で実施に至らなかった。そこで令和9年度より広域連携を始める見込みで、本町の子であっても他市町村に預けることができるようにしたい。

北谷 町または周辺自治体と協力して実施できないか。

町長 調査により今後の事業展開等の計画を策定する。また、「地域活性化起業者」制度の活用、リフォームなど各種補助金の周知により、景観の整備に努めたい。

北谷 観光に加え、移住にもつなげることで空き家の数を減らすことが期待できる。まず町を体験してもらうために「お試し移住」の住居として、空き家を活用できないか。

町長 町有物件を工夫することで対応可能なものがあるので検討したい。

北谷 町有物件以外でも、個人や法人が所有の空き家を整備してもらい、お試し住居として活用し、町が情報の発信や補助金等で支援する方法もあるかと思うので、合わせて検討を求めたい。



妻入りの街並み

1 <small>きたたにみつ</small> 北谷三樹 議員	2 <small>わだかずゆき</small> 和田一幸 議員	3 <small>こばやしれいこ</small> 小林玲子 議員
質問項目 1.保育の今後について 2.海岸地区の空き家と移住施策について	質問項目 1.町ペット防災の早急な整備と周知について 2.(仮称)西山風力発電事業環境影響評価準備書(以下準備書)に対する出雲崎町長意見への対応表(以下対応表)及び環境影響評価書(以下評価書)提出前説明会回答から町の認識を問う	質問項目 1.柏崎刈羽原子力発電所の再稼働後の出雲崎町について
🔍 詳細は13ページ	🔍 詳細は14ページ	🔍 詳細は15ページ



一般質問 ~町政を問う~

4 <small>いしかわ ちたか</small> 石川 豊 議員	5 <small>なかのかつまさ</small> 中野勝正 議員	6 <small>しまあすか</small> 島 明日香 議員	7 <small>たかはしそくえん</small> 高橋速円 議員
質問項目 1.除雪計画における積雪10cm目安の柔軟な対応について 2.(仮称)町立学校整備維持基金の新設について	質問項目 1.柏崎刈羽原発6号機稼働について	質問項目 1.教職員の働き方改革に伴う下校時間の繰り上げと、放課後の児童の安全確保について	質問項目 1.地方創生推進事業について
🔍 詳細は16ページ	🔍 詳細は17ページ	🔍 詳細は18ページ	🔍 詳細は19ページ

一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています

出雲崎町議会YouTubeチャンネル
3月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます →

質問者の一般質問は二次元バーコードより、YouTubeでご覧いただけます。



和田 一幸 議員 (文責)

町独自のペット防災は？

町独自のガイドライン 作成しないが周知していく



和田 能登地震を通じて、飼い主がペットを理由に避難所に行けず車中避難による二次被害が発生。国のガイドラインは存在するが、飼育していない方の理解不足や避難訓練が不十分。町独自のガイドラインの作成予定と今後の改善方針を問う。

町長 町は従来屋内ゲートボール場をペット避難先と想定していたが十分に周知されていなかった。町独自のガイドラインは策定せず、県のマニュアルを参考に訓練を繰り返して改善策を検討する。広報や訓練を通じて周知啓発を行い、飼い主と非飼い主の双方が防災に備えるようにしていく。

和田 今後飼い主と非飼い主の両者へどのように周知を行い、災害時にどのような取り組みを強化するか。またペット防災手帳を飼い主世帯全戸に記帳するよう呼びかけが必要。

町長 周知は広報、SNS、町のLINEを通じて行う。ペットを飼う避難所と飼わない避難所を分ける

ことで軋轢を防止する。避難所側と飼い主側の双方が備えを万全にする取り組みを優先する。防災手帳も記帳するよう啓蒙する。

西山風力発電事業について、町民の安全と健康を本当に守れるのか？

守る。しかし町では限界がある

書を提出済み。県知事の意見の通り、事業者が地域住民と十分なコミュニケーションを図り、不安や懸念が解消されるよう求めている。事業者が使用している3Dシミュレーターの開示を求め再度検討したい。

和田 事業終了後の原状回復で「更地に戻す」とあるが、事業者が巨大なコンクリート基礎を撤去せず中に埋める可能性を示唆。これは適切な原状回復と言えるのか。産業廃棄物を半永久的に残すのか。負の財産ではないか。

町長 原状回復は将来的な土地利用に支障を残さない状態を指す。地中に残置される巨大なコンクリートは慎重な判断が必要だが、掘り起こし時の地盤安定への影響も考慮が必要。土地所有者の意向も条件となり、慎重に対応を検討する。

和田 町長意見で「風車を家から離す」等を求めたが、事業者は最大出力を69000KWから68750KWにわずかに0.003%削減しただけで、風車は大型化した。これは町長意見に反しているか。

町長 町には許認可権限がないため、県知事に意見

か。また町として具体的な対策があるのか。それで町民の安全・健康を守れるのか。

町長 事業者は風車稼働後に体調不良を訴える方がいても、騒音値が指針値を下回る場合には因果関係を調査すると協定書で約束する。町長意見に対する回答では、客観的認定は国の基準以下であることと必ずしも関連しないと解釈している。町は協定書の案を検討中であり、仮に町民に影響があった場合は必要な調査が行われるよう事業者に強く求めていく。権限が限られるため町は協定書で対応するしかない。

和田 これら全て建ててからでは取り返しがつかない大きな問題であり、町が透明性のある情報公開を求め、明確な基準を示すことが行政の責任ではないか。また、事業者、行政、町民が平行線のままでは互いに不利益となる事業になるのではないかと危惧している。最終的に出雲崎町に取り返しのない負の遺産を残さないようにしていただきたい。



小林 玲子 議員 (文責)

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働後の出雲崎町について

一定の経済効果があるものと期待している



小林 出雲崎町への経済効果について、町としてどの程度を見込んでいるのか。東京電力が10年間で1,000億円規模の資金を拠出するという報道もある。当町においても柏崎刈羽原子力発電所に関連する交付金が交付され、地域住民の福祉向上のために活用されてきたと考えているが、今後の稼働状況などにより、交付金の額や制度にどのような影響があると考えているか伺う。

町長 新潟県は6号機・7号機が再稼働した場合、10年間で約4,396億円の経済波及効果が県内にもたらされると試算している。本町への経済効果について試算したものはないが、一定の効果があるものと期待している。各自治体が、原発が稼働した際にメリットがあるような要望活動を行っていく。

再稼働後の当町にはどのくらいの経済効果を見込んでいるのか

冬期に原子力災害が発生した場合の避難対策について

小林 避難時には、道路の除雪や交通確保が大きな課題になると考えるが、事故が発生した場合の避難ルートの確保や除雪体制などについて、どのような検討や対策がされているのか伺う。

町長 柏崎地域の緊急対応としては、国道、高速道路の同時通行止めによる集中除雪等の豪雪対策により、冬期道路の交通確保に取り組みむこととしている。原子力災害時には、人命をさらす自然災害リスクがなくなつた時点で、必要に応じて自衛隊や警察機関などによる除雪や誘導等の避難支援が実施されることとなる。

小林 町内の建設業者の皆さんのご協力により冬期の交通確保が図られているものと認識しているが、町内業者も含めた除雪体制の

確保や作業計画の共有、道路状況の確認、それに伴う訓練など、町独自の計画を検討しているか。

町長 放射線が放出されている中で除雪作業は一般の建設業者の皆さんには依頼できないと考える。まずは、一時屋内避難になるので、国の機関に支援をお願いすることがベストだと思う。

令和8年度の防災訓練の実施について

小林 昨年、大規模な総合防災訓練が実施された。原子力災害への備えとしては継続的な訓練が重要と考えるが、今後も実施する予定があるか伺う。

町長 令和8年度の本町の防災訓練は、土砂災害を想定した町総合防災訓練、津波住民避難訓練、原子力災害を想定した原子力防災訓練、本部運営訓練を計画している。



令和7年実施の総合防災訓練の様子

町長 今は検討していないが、訓練の際には参加していただいている。



石川 豊 議員 (文責)

積雪10cm基準の 柔軟な対応は可能か

町長 基準は堅持しつつ、 柔軟且つ丁寧な除雪に努める



介護車両の
スムーズな運行は
可能か

石川 除雪目安の積雪10cm基準に達してはいませんが、介護車両利用者の乗降に支障をきたしているため、除雪基準にこだわらない柔軟な対応を提案するが、町長の所見を伺う。

柔軟且つ丁寧な除雪に
努める

町長 現行の除雪出動基準を堅持しながらも、最新の気象予測などを十分活用して、出動時間の前倒しなど、柔軟な、丁寧な除雪に努めていく。



(仮称)町立学校整備維持基金の新設を提案するが

町長 「町立学校の在り方検討委員会」の答申を受けて、 改めて検討する

町立学校の大規模修繕を
新設基金で推進を

石川 町立小中学校の築50年前後経過していることや、また、児童生徒数の将来に渡る減少を見据えた場合、大規模修繕や小中学校の統合校舎建設などが予想される。

従来の「公共用施設維持補修基金」とは別に、(仮称)町立学校整備維持基金を新設することで、この先の予想される事態に対応してはどうか。

町立学校の在り方検討
委員会の答申を受けて
判断する

町長 8年度当初予算に「学校施設長寿命化計画更新業務委託料」を計上しており、更に「町立学校の在り方検討委員会」もスタートして、町立学校の新たなあり方の方向性が議論されるものと考えている。



築約48年の小学校校舎



築約52年の中学校校舎

検討委員会の答申を受けて、検討課題が明確になった段階で新設するか否か、改めて検討していく。



中野 勝正 議員 (文責)

柏崎刈羽原発6号機稼働に ついて

町長 関川村村長に 働きかけについては



一部の自治体だけで
新潟県に働きはしない。
町長 新潟県では原子力災害広域避難計画は、平成

関川村への避難について
中野 事故が起きた際当町は関川村に避難です。この避難場所については新潟県原子力災害広域避難計画によるものです。当議会として、去る2月16日、17日に関川村避難所の現地視察をしました。国道116号を経由し、当役場から片道128kmあり、長い距離長い時間かかると感じました。今、柏崎刈羽原子力発電所6号機が稼働しました。両町村と防災関連に関わる避難体制構築の中で財政負担がかり避難体制は、財政支援、財政負担が欠かせないと思います。関川村村長とタッグを組み新潟県に働きかけはできないか。

中野 国や東京電力、県に働きかけ、原発特措法の交付金の増額を求めることはできないか。

原発特措法の交付金増額
を求めることについて

中野 政府は原発活用にかじをきり、営業開始は3月18日です。当町は、原発立地ではないですが、刈羽村とは、距離が短くリスクがありすぎると感じる町民がたくさんいられます。

営業が始まる

一部の自治体だけで働きかけるよりも、UPZやPAZの市町村と一緒に頑張って県や国に働きかけます。

原発特措法の
交付金について

町長 原子力発電施設等立地地域特措法は、新潟県では、柏崎市、刈羽村、長岡市、上越市、出雲崎町ですが、当町はこの交付金を

もらったことはありません。しかし、当町は10km、20km圏内に全域が入る地域特性を踏まえ、避難対策はもろろん、財政支援を含めた地域振興に十分配慮するよう申し入れていきます。



関川村村民会館会議室にて高野防災専門官よりレクチャーを受ける



島 明日香 議員 (文責)

早まる下校、児童の居場所は？

町長 安全・安心に過ごせる環境を確保



保護者への周知が遅い

島 働き方を変えられない方や、仕事を辞めるかどうかも考えなくてはならない保護者のことを考えると、早めの丁寧な説明が必要だったのではないかと。

下校時間は20分の繰り上げ

教育長 2月に入り全ての保護者への周知を図った。もう少し早くお知らせできれば、保護者も新年度の見通しを立てやすかったと思う。児童クラブや放課後子ども教室の終了時間に変更はなく、お迎えの時間は午後6時、延長の場合は午後7時とし、放課後子ども教室の迎えの時間も午後6時までで、これまで通りの時間を確保している。

全ての児童に放課後の安全を

島 遊べる場所も近くにない、遊ぶ場所へ行く手

段もないなか、町や学校はメディアコントロールを推奨し、ゲームもやり過ぎは良くないとしている一方で、児童が家にいる時間はさらに長くなる。この状況をどう考えるか。

教育環境の在り方を検討

教育長 こども達が、自分たちの時間を自分なりに過ごすことができる環境が無い。大人が見守る中で、こどもたちが気軽に集い、自分たちで遊べるような環境を町でどんなふうにつけていくかが、大事な課題である。それらを含めたこどもたちの教育環境の在り方を、さらに検討していく。

島 放課後子ども教室の拡充や、地域の改善センター等を居場所の一つにできないか。

教育長 現体制を維持していくことも苦慮していて、支援員として町職員がつくこともあり、人材確保が難しい状況である。改善センター等の活用は、課題が多いため引き続き小学校の空

き教室や中央公民館を放課後児童クラブや子ども教室に利用する。

現場の持続可能性

島 放課後児童クラブの開所時間を早めることで、支援員や補助員不足に拍車がかかっているのか。利用定員拡大や支援員等増員の考えはあるか。

今の体制を維持

教育長 近年、利用人数が定員数を上回っていることから低学年中心の利用にならざるを得ず、高学年の利用を制限している。利用ニーズは令和7、8年度がピークで今後は減少に転じるため、定員を拡大する計画はない。今年度は、放課後児童支援専門員1名と補



放課後子ども教室～柔道～



下校する児童

助員8名で対応する予定である。

早まる下校時間に不安要素

島 交通安全や防犯の観点から児童の安全を守って下がるボランティアとの連携は、町中に防犯カメラもほとんどないため、不安の声も。

町長 地域で学校を支援する仕組みづくりを学校、保護者、地域ボランティアで連携して活動している。また、LEDライトや防犯ブザー等を支給し、環境整備にも努めている。今後も町内の様々な団体と連携し協議を継続していく。

教育長 スクールガードの窓口は学校のため、課題や保護者の心配事を聞きながら新年度の体制を考えるよう引き続き指導していく。

担い手、ネットワークづくり 急ぐ必要がある！

高橋 最大の効果をあげるにはどうするか。担い手をどうするか。どのような形を想定しているのか。

地域横断的に人材を掘り起こす

町長 一足飛びに自主組織は考えていない。横断的に担い手を掘り起こしたい。いままで出雲崎でこのように大きなソフト事業はなかった。不転の決意で臨みたい。

担い手の確保、どうする？

町長 町民、関係者の協働で地域横断的に取り組む！



高橋 速門 議員 (文責)



町長 町の100年事業だ 仕様書作成し、コンペ検討する

地方創生 職員のオーバークロフト ホントに心配だ

高橋 4月からの新年度を入れて3年で5事業に5億円。突貫仕事を町は行うことになる。限られた職員でできるのか心配だ？ その姿勢も問われるがいかか。

次の100年事業として 取り組む

町長 負担をかけるが町民目線で戦略を策定していく。新年度は地方創生推進事業の基盤構築と位置づけている。アクションプランを策定する。町民の意識調査、関係団体等へのヒアリングも行う。

どういった形で行うのか

高橋 一番の懸念はその進め方だ。事業別の成果をどういう基準で精査するか。また一つに絞っていくのか、そうでないのか、いろいろある。

仕様書でコンペを検討

町長 これからになるが仕様書を作成し、コンペを行う形で検討している。



全員協議会 1～3月開催分

町公の施設指定管理者の選定について

産業観光課長 (株)イドムに令和8年4月1日から2年間指定管理者として選定した。委託料は年間600万円。

宮下議員 事業採算は取れているのか。

副町長 令和6年度の売上は約400万で、町への納付額は10万を切る。公益性を重視し、独立採算は最初から考えていない。



妻入り会館

教育課長 妻入りの会に、令和8年4月1日から2年間指定管理者として選定した。営業時間を10時～16時へと今までより2時間短縮する。

小林玲子議員 使用時間は9時～22時とあるが、営業時間外に利用したい時はどうするのか。また、土日や夜のイベント延長を要望する。

教育課長 事前の申請で管理者が対応する。



重点支援地方交付金の活用

総務課長 町民及び町内事業者への支援のために次の事業に活用する。

- ①プレミアム商品券利用事業
 - ②水道基本料金減免事業
 - ③一人親家庭等応援支援金支給事業
 - ④灯油購入費等助成事業
- その他については事業内容がまとまり次第対応する。

宮下議員 一部の町民の間で、商品券が販売されても使用する場合が限定的で使い道に困るという意見もある。今後は町民ニーズを捉えた中で多くの町民に恩恵が行きわたるような制度計画を進めてほしい。

第8弾 プレミアム商品券の販売

小林玲子議員 商品券を販売ではなく配布という形をとる市町

地方創生推進事業

総務課長 令和8年からの2年間、総事業費4億7、100万円とし、5つのソフト事業と2つの拠点整備事業を行う。

石川議員 妻入りの町並み空家活用調査770万円とあるが、空家調査は以前にもしていたが何が違うのか。

総務課長 令和6年に空家かどうかの調査はしたが、所有者や家の状態まではしていない。区間を絞った中で調査する。

議会のメンバー

(主なもの)

- 1・21 1月全員協議会 (↓詳細はp20)
- 2・10 議会運営委員会
- 16 2月全員協議会 (↓詳細はp20)
- 16～17 行政視察(関川村) (↓詳細はp22)
- 20 町村議会議長会
- 第77回定期総会(新潟市)
- 25 議会運営委員会
- 3・6 3月定例会初日
- 議会報特別委員会 (議会だより131号)
- 9 社会産業常任委員会
- 総務文教常任委員会
- 10 3月定例会二日目 (一般質問)
- 11 予算審査特別委員会 (↓詳細はp12～19)
- 13 議会運営委員会
- 3月定例会最終日
- 3月全員協議会
- 21 東京出雲崎会定時総会 (東京部)
- 25 議会報特別委員会 (議会だより131号)
- 15 議会運営委員会

北谷議員 地域商社等法人ポテンシャル調査業務委託料880万とは商社は1から立ち上げるのか。

総務課長 町内、町外問わず企業の申し出を受け付ける、0スタート。

北谷議員 町内で立ち上げ、町内の人が働く方向で進めてほしい。

小林明日香議員 夕風の橋改修設計委託料1、097万とあるが、橋の設計料だけで1千万円ならば、工事費は1億円を超えるが町の財政的に高過ぎではないか。

産業観光課長 町のシンボルなので安全性と耐久性を考慮し計上した。

地方創生本部設立 (町長行政報告)

町長 全職員が参加し、課を超えたグループを編成し、本部長は町長とする。

小林明日香議員 メンバーは役所内だけか。

クローズド(非公開)に進む会が多いので、議題や新事業の

進行具合をインスタグラムやフェイスブックで共有し、町民や議員のアイデアも広く取り込んで欲しい。

町長 メンバーは庁舎内だけである、インスタグラム等については、発信力ができていない。

町道小木ノ城線の道路災害

建設課長 3月9日に20mに渡り土砂崩れが起きていることを確認した。道路は狭い所で3mと危険な為、現在通行止としてい



終点側から起点側を望む



令和8年度

地域懇談会の開催

総務課長 1年かけて町内52箇所の集落に町長自ら出向き、懇談会を開催する。町民の皆様の声を町政に反映させ、一人ひとりの声が生きて「参加型のまちづくり」を進めていきたい。5・6月のスケジュールは次のとおり。

5月11日(月)	午後7時から	北国街道妻入り会館	稲荷町
5月13日(水)	午後7時から	北国街道妻入り会館	岩船町
5月14日(木)～31日(日)は、新潟県知事選挙の関係で開催しません。			
6月	午後7時から	各地区の集会場等	住吉町 石井町1・2区・2丁目 羽黒町1～5区 鳴滝町1・2区 木折町1・2区 井鼻1～4区 久田

津波緊急避難場所

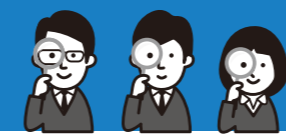
(尼瀬地区) 基本構想案

総務課長 尼瀬稲荷社裏の臨海学校跡地に、日常的に地域住民と観光客が利用できるフェーズフリーな防災拠点を作る構想案。



一口メモ

フェーズフリーとは 「平常時」と「災害時」の境目をなくし、普段使っているモノやサービスを、もしもの時にも役立てるという新しい防災の考え方です。



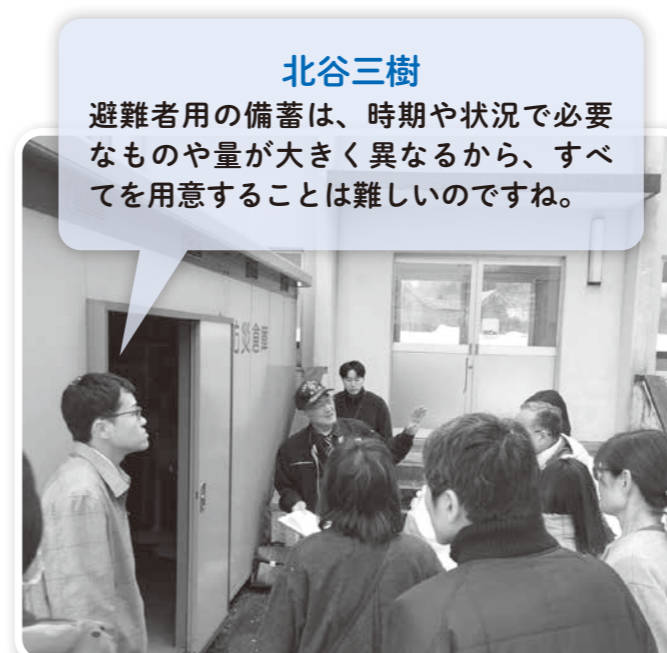
町の課題を調査・研究中

行政視察報告 ～関川村へ視察～

副議長 石川 豊

去る令和8年2月16日～17日にかけて、柏崎刈羽原発事故想定による避難経路及び避難先状況確認のため、議員全員で行政視察を行った。

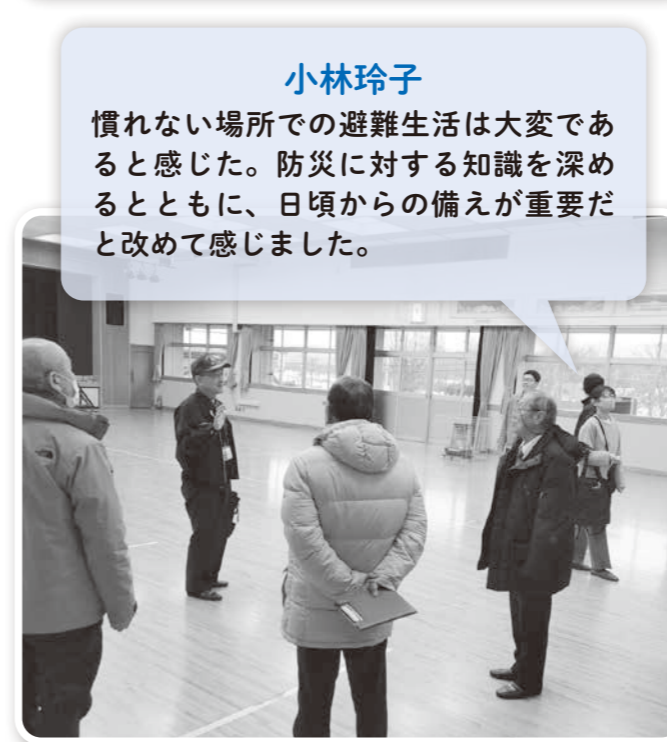
これは原発事故発生時の折、当町の緊急避難先である新潟県関川村へ、複合災害（除雪作業を要する冬季）なども想定して、一般国道を主な経路として実施した。関川村高野防災専門官より、主な避難先を案内されて説明を受けた。冬季時期に視察を敢行したが、長距離による避難時間がかかること、内陸に位置するため底冷えのする寒さ等、原発事故避難のあり方について課題を残す結果となった。



北谷三樹
避難者用の備蓄は、時期や状況で必要なものや量が大きく異なるから、すべてを用意することは難しいですね。



中野勝正
防災専門官の仕事は、どのような実務をされているのですか。



小林玲子
慣れない場所での避難生活は大変であると感じた。防災に対する知識を深めるとともに、日頃からの備えが重要だと改めて感じました。



小林明日香
出雲崎町とは比べ物にならない雪と寒さ、避難先で唯一畳の和室がある「ふれあいど〜む」は本当に有難い。村に温泉が5つあることも厳冬期は救いだと感じた。

町議会だよりの題字デザインが新しくなりました!

「いずもぎき 議会だより」をより親しみやすく感じていただけるよう、題字デザインを公募いたしましたところ、小学生から各世代の方から素晴らしい作品をご応募いただきました。厳正なる審査の経過を経て、下記の通り採用作品を決定いたしました。

最優秀賞 さとうよしこ 佐藤 芳子 様 (神条地区)

選定理由 出雲崎を象徴する「夕日」や「紙風船」が巧みに取り入れられ、一目で私たちの町を感じさせるデザインです。流麗な筆致には、町民の声に耳を傾ける議会の柔軟さと躍動感が内包されていて、新時代の「議会だより」の顔としてふさわしいと支持を集めました。



選考の様子

惜しくも採用とはならなかったものの、素晴らしい作品ばかりでした。全ての応募者に感謝申し上げます。

議会サロンを開催します

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催します。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。

開催日	時間	場所	担当議員	
5月23日(土)	午前10時～12時	妻入り会館	高桑佳子	小林玲子
7月25日(土)	午前10時～12時	ホッと情報館 陽だまり	石川 豊	和田 一幸
8月22日(土)	午前10時～12時	妻入り会館	高橋速円	北谷三樹



議会のこと、町への要望などぜひ、この機会にお聞かせください。顔を見に来ていただけるだけでも嬉しいです。

令和7年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳					合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	事務費		
高橋速円	60,000	0	0	0	69,072	11,880	80,952	0
石川 豊	60,000	0	48,680	0	23,932	11,880	84,492	0
和田 一幸	45,000	3,000	0	0	12,381	11,910	27,291	17,709
小林 明日香	45,000	0	0	16,800	12,381	21,639	50,820	0
宮下 孝幸	60,000	0	0	59,472	0	11,880	71,352	0
中野 勝正	60,000	0	0	0	19,872	22,933	42,805	17,195
高桑 佳子	60,000	0	26,400	0	40,272	12,880	79,552	0
小林 玲子	60,000	0	0	0	59,472	12,880	72,352	0
北谷 三樹	45,000	0	0	0	12,381	45,000	57,381	0
島 明日香	60,000	3,000	0	0	18,952	39,859	61,811	0

※月額5,000円×令和7年度活動月数(12カ月)で交付
新任議員3名は、月額5,000円×9カ月(令和7年7月～令和8年3月)で交付

なぜ出雲崎で合唱部を始めようと思ったのですか？

小学生の頃出雲崎のイベントで、夕日の美しい景色の中、演奏をしている姿に感動して吹奏楽に入部したのがきっかけで演奏や歌が大好きになりました。帰郷して合唱をやりたいと思ったのですが、この町に合唱団がなかったので作りたいと思いました。

Uターンしてすぐに作るつもりでしたが、3人目を妊娠したため落ち着いてからということ去年から開始しました。

合唱部の今後の展望は何ですか？

出雲崎の人は歌が好きだと思うので、歌いたい人が気持ちよく歌える場所になりたいです。レベルの高さを目指すのではなく、気軽に参加できる環境を作り、最終的にはハモったり発表会に出られるようになりたいです。子ども大人ともに歌っています。見学・入部大歓迎です！

小木之城山展望台でトランペット演奏されていましたが、どうでしたか？

最高に気持ちよかったです。山頂での楽器演奏や歌がこんなにマッチするとは思わなかったです。みんなにやってほしいし、小木之城山で演奏会などできたら素敵だと思います。

町への要望を教えてください。

素晴らしい出雲崎の魅力がまだまだ伝えきれていないと思います。

競り市を一般の方も見学出来るようにしたり、町外者向けプレミアム商品券作成など町外の方が出雲崎に訪れやすい環境をつくって活気ある町にしてほしいです。



いずもざき合唱団練習風景



みんなの声

出雲崎の人はみんな歌が好き！
一緒に歌おう！

いずもざき合唱団

みやざき ゆうき
宮崎 有希さん



インタビューしました！

小木ノ城山で
トランペット演奏



表紙の小話

新年度予算で学校給食の無償化補助が決定しました。学校給食は、子どもたちにとって日々の楽しみであると同時に、栄養バランスの取れた食事を安定して提供する大切な役割を担っています。特に地元食材を取り入れた献立や、季節感を大切にしたメニューは、食育の一環としても重要です。出雲崎町の給食は全国的に見てもかなり充実しています。

献立表を拝見すると、栄養バランスはもちろんのこと日々多彩なメニューに心から子ども達のために考えていただいているのがわかります。今回の無償化は、タダというわけではなく、生産者さんや栄養士さん、調理員の皆さん、そして町の財源の地域全体で子どもたちの成長を見守る取り組みともいえると思います。

食の大切さや地域のつながりについて、子ども達だけでなく私たちみんな考えていきたいですね。

(文責 和田一幸)

編集後記

皆さんご存知のとおり、2025年「Uターンしたい街ランキング」で、出雲崎町が全国第6位に選ばれました。町の手厚い支援に加え、海と山が織りなす独特の風土こそが最大の魅力ではないでしょうか。

日本海の豊かな表情と小木ノ城山から望む四季折々の里山の風景は、人の暮らしや価値観に深く影響を与えてきました。そこから育まれた助け合いの文化や顔の見える関係は、都市にはない安心感を生み出しています。

町民は郷土への誇りを持ち、歴史や魅力を自分の言葉で語ります。その姿が人を惹きつけ、「ここに帰りたい」と思わせる力となっているのではないのでしょうか。

今回の評価は、行政と町民の想いが重なった成果であり、今後のまちづくりの可能性を示していると思います。

(和田一幸)

議会報特別委員会

委員長 島 明日香
副委員長 小林 玲子
委員 高桑 佳子
小林明日香
和田 一幸
北谷 三樹

議会だより発行予定 発行は4月・7月・10月・1月の年4回です。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 高橋速円 編集/議会報特別委員会 題字/佐藤芳子 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>